

## 千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題 (研究番号)	「ウェルナー症候群の症例登録システム構築によるエビデンスの創生」
当院の研究責任者 (所属)	河野貴史 (糖尿病代謝内分泌内科)
多施設共同研究の 場合、主たる研究 機関および研究責 任者(所属)	研究代表者 横手幸太郎(千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学)
研究の目的	ウェルナー症候群は、まだ根本的な治療法がみつかっていない遺伝性の病気です。千葉市立青葉病院では、千葉大学細胞治療内科学と共にウェルナー症候群の原因を探り、新しい治療法を開発するための研究を行っています。
調査期間	2022年3月31日まで
対象となる患者様	ウェルナー症候群の患者様
使用する情報、試 料等 ([○]の項目を利用 します)	[○]血液、[ ]唾液、[ ]毛髪、[○]病理組織、[ ]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 [ ]その他(空白に記載)
情報や試料の他の 研究機関への提供 およびその方法	個人情報を削除した上で、上記情報を共同研究施設へ提供いたします。
個人情報の取り扱い	利用する情報から使命や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。